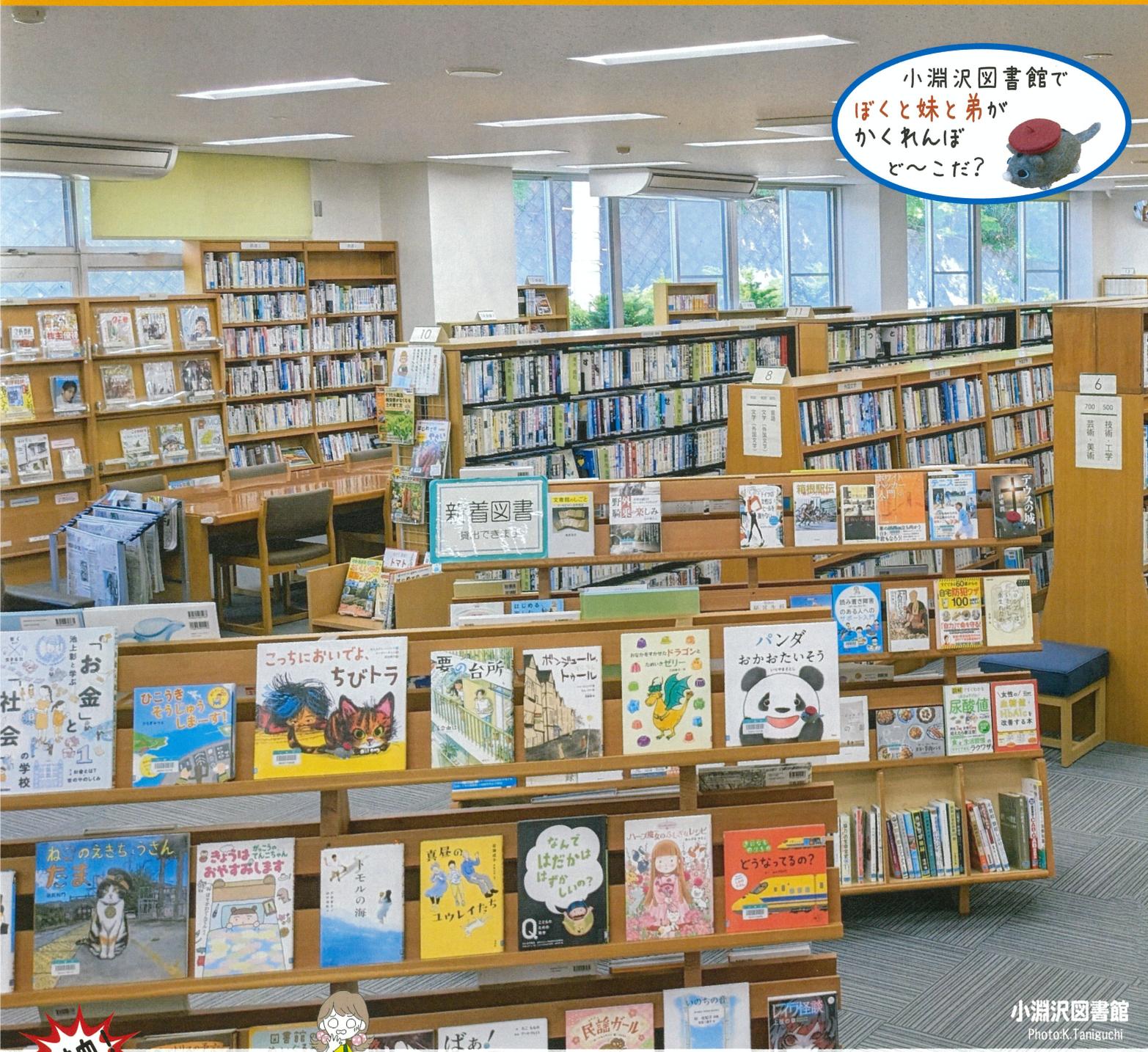




# やまね便り

## 市制施行20周年記念特集 話題になった本とふりかえる北杜市図書館

小淵沢図書館で  
ぼくと妹と弟が  
かくれんぼ  
ど〜こだ?



小淵沢図書館  
Photo:K.Taniguchi



新米司書  
シショコが行く!



本のある風景

一度は食べてみたい絵本の中の…  
コラム：推して推して…押し出しの巻

## 北杜市図書館20年

～北杜市図書館の貸出ベストトップ～



『バムとケロのおかいもの』  
島田ゆか/作 文芸堂

2008年～  
児童書部門ではバムとケロシリーズが、  
一般書部門では東野圭吾氏の作品が  
常に貸出トップとなっており、根強い人気。



『手紙』  
東野圭吾/著  
毎日新聞社

### 近年の話題本

- 2024年『成瀬は天下を取りに行く』  
宮島未奈/著 新潮社
- 2023年『大ピンチずかん』  
鈴木のりたけ/著  
小学館
- 2022年『80歳の壁』  
和田秀樹/著 幻冬舎
- 2021年『52ヘルツのクジラたち』  
町田そのこ/著 中央公論新社
- 2020年『流浪の月』 風良ゆう/著 東京創元社

2024年  
ながさか図書館が  
文部科学大臣表彰  
を受ける。

2022年  
すたまおはなしの会アリスが  
文部科学大臣表彰を受ける。

2021年  
シショコ登場。  
せんぱいとコンビを組む。  
コンビじゃない



### 2020年

2020年  
\*記念日にあわせて本を紹介する  
アニバーサリーブックリスト発行開始。

\*X(旧ツイッター)でやまね  
ちゃんが発信開始。

\*新型コロナウイルス流行。  
初めての試練。  
全館臨時休館、完全休館、制限つき開館、  
イベント中止を余儀なくされる。



2015年『火花』  
又吉直樹/著  
文藝春秋



／笑いとは何か、  
人間とは何か  
を描き、  
芥川賞も受賞

2018年  
『漫画君たちはどう生きるか』  
吉野源三郎/原作 羽賀翔一/漫画  
マガジンハウス



／読み継がれて  
きた  
歴史的名著を  
漫画化し  
話題に



2017年  
『蜜蜂と遠雷』  
恩田 陸/著  
幻冬舎

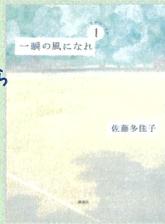
／舞台は  
ピアノコンクール  
直木賞も受賞



2009年  
『告白』  
湊かなえ/著  
双葉社

／イヤミの  
女王の  
デビュー作

2007年  
『一瞬の風になれ』  
佐藤多佳子/著 講談社



／読み始めたら  
止まらない  
胸熱の  
陸上  
青春小説

2008年  
『ゴールデン・スランバー』  
伊坂幸太郎/著 新潮社



／伏線回収が  
たまらない!

2006年  
『東京タワー  
オカンとボクと、時々、オトン』  
リリー・フランキー/著  
扶桑社



／「品格」が  
流行語大賞も  
受賞したね



／これでもかってくらい  
泣ける作品

2005年  
『国家の品格』  
藤原正彦/著  
新潮社

2004年  
『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』  
J・K・ローリング/著 松岡佑子/訳  
静山社



／大人も  
子ども  
夢中に

### 2010年

2006年  
小淵沢図書館編入。  
8館体制に。

2005年(図書館メール便) + 2009年(市総務課メール便)  
市内図書館をつなぐ物流システムヤマネット運行開始。  
本や文書を車に載せて、市内の図書館を巡回している。  
これにより、返却された本を元の図書館へ戻したり、  
貸出し本を受け取り希望館へよりスピーディーに届ける  
ことが可能に。

2005年9月  
ホームページリニューアル。  
イベントのチェック、  
蔵書の検索、  
インターネット予約が  
出来るようになり、  
便利に。

2005年  
\*やまね便り創刊(20年の時を経て現在83号へ)  
\*赤ちゃんと保護者が、絵本を通して親子のふれ  
あいや絆を深めるきっかけづくりを目的とした  
ブックスタート事業開始。

### 2004年

2004年すたま森の図書館が子どもの読書活動推進実践図書館として、文部科学大臣表彰を受ける。

2004年11月北杜市誕生

トンネルを知る。『森へ行きましょう』川上弘美／著  
トンネルを味わう。日本経済新聞出版社



不思議な  
感覚を  
味わう



『ぐるりと』島崎 町／著  
ロクリン社

居場所を探そう。  
自分を探そう。



『軌道回廊』徳川弘樹／著  
実業之日本社



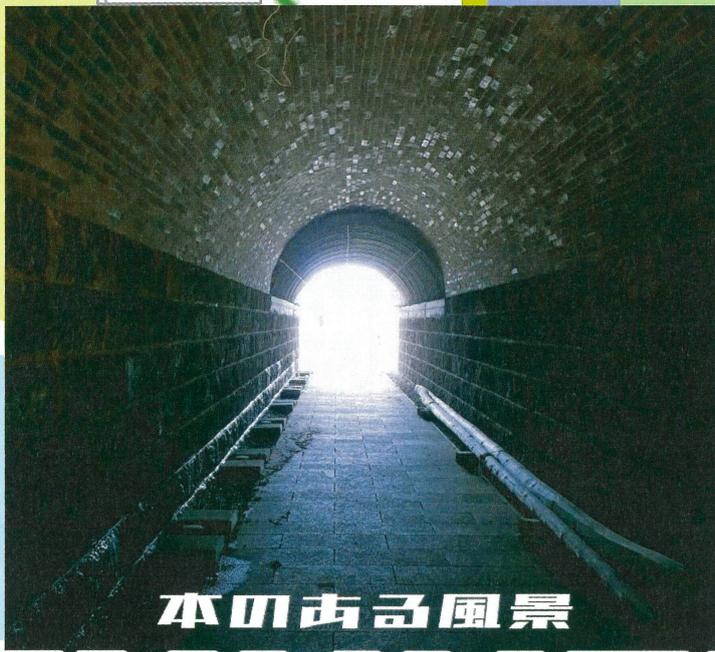
『だんだんできてくるトンネル』  
鹿島建設株式会社／監修  
フレーベル館



『君の名前の横顔』河野 裕／著  
ポプラ社



『どこでもいっからどこかへ行きたい』pha／著  
幻冬舎



本町ある風景

# TUNNEL

北杜市小淵沢町にこんなフォトジェニックな場所があることをご存知だろうか。日本名水百選に選ばれた湧き水があることでも有名な“大滝神社”の鳥居の先にあるトンネルだ。古代から人によってつくられてきた不思議な空間。そんな空間で味わいたい本を紹介しよう。

そこに何かがある？



『夜の神社の森のなか』大野隆介／作  
ロクリン社



『あっちがわ』イズスマサシ／作・絵  
岩崎書店

トンネルの先は異世界への入口かも？



『夜行堂奇譚』嗣人／著  
産業編集センター



『千と千尋の神隠し』宮崎 駿／原作  
徳間書店

## 本の通りに作ってみよう

～サツキが作ったおべんとう～



『ジブリの食卓 となりのトロ』スタジオジブリ／監修  
主婦の友社

すっぱい梅干に  
ふわふわでんぶ。  
あまいうぐいす豆に  
香ばしいめざし。  
ごはんがすすむおかずを  
のつけたら、  
いづれもきれいな  
おべんとうの完成です！  
—本文より—

一度味わってみたかった  
「サツキのお弁当」を再現  
してみました。  
写真付きレシピを見なが  
ら楽しく簡単に作ること  
が出来ますよ♪  
みなさんもレッツチャレンジ！

土鍋で白米を炊き、  
一晩水に浸けた青豆を煮、  
鯛に食紅で色をつけて桜色に。  
香ばしいめざしを噛み締めながら、  
トロの世界にタイムスリップ！

おはあちゃんちのおはぎも  
食べてみたいなあ。



K.Masui

再現度★★★★  
味★★★★☆  
難易度★★★★☆  
満足度★★★★☆

## \*コラム\*

### 推して推して…押し出しの巻



近年、推しという言葉をよく聞く。「ヴァンフォーレ甲府の〇〇選手が推しなの～」とか「推しの小説家はやっぱり東〇圭〇でしょ」という感じだろうか？

十数年前のこと。偶然つけたテレビの中に推しを見つけた。大相撲中継に映った超イケメンの呼び出しさん。力士にタオルを渡す姿も凛々しい。懸賞旗を持って歩いている姿もサマになる。翌日から推しを観るために中継にキグづけ。しかし、いつしか力士たちの激しい勝負に夢中になっている私があった。

大きな力士に立ち向かっていく小兵力士、有名な横綱だった祖父を目指し奮闘する力士、番付を下げても這い上がってくる力士、そして彼らを支える「行司」「呼び出し」「床山」などの裏方さんたち。力士の活躍+裏方さんたちの支え全部ひっくるめて大相撲の魅力なのだ。

決まり手など専門用語が多く難しいが、ガイド本を片手に中継を見てみよう。そこには知れば知るほど、奥深く、ますます面白くなっていく大相撲の世界が待っているのだ。

ある会社の調査によると、推しがいる人の約9割が「人生が豊かになった」と回答したという。人生をもっと豊かにするために、これからも推して推して推しまくるのだ。



『知れば知るほど 行司・呼出し・床山 相撲』編集部／編著  
ベースボール・マガジン社



『家で楽しむ大相撲 観る相撲のためのガイドブック』ホビー・ジャパン相撲部／著  
ホビー・ジャパン

M.Fujimori

# ながさか図書館が 文部科学大臣表彰を受けました

この表彰状は、ボランティアのみなさん、利用者のみなさん、学校、保育園など関係各所の方々や、日頃から子どもの読書活動を盛り上げてくれるみなさんの力でいただいた表彰状です。いつもありがとうございます。図書館職員一同、日頃のご支援、ご協力に心より感謝するとともに、表彰を報告させていただきます。



**SNS やってるよ**

のぞいてみてね。

X(旧ツイッター)で、ぼく(やまねちゃん)が毎日つぶやいているの知ってた？

SNSのことなんて右も左もわからなかったぼくが、どうにかこうにかつぶやき始めてから早5年。

毎日市内の図書館を巡りながら、イベント情報や展示の様子、推している本の紹介やおはなし会の案内などを発信しているよ！お昼には、記念日の本を選ぶ「アノバーサリーブック」も紹介してるんだ。

図書館の“今”を伝えているよ！

はい。わが図書館のマスコット、やまねちゃんのプロフィール、あげとくわね。

性格：好奇心旺盛で元気いっぱい  
趣味：読書と図書館巡り  
必殺技：都合が悪くなると、丸まって冬眠する  
将来の夢：館長になること

われわれのマスコット、超いやし系のやまねちゃん。なんかこの間うちの図書館に来たとき「アノバーさんもっと増えないかなー」ってリアルでつぶやいてたわっ！

みんな、応援してあげてー♡

Follow Me

## 熱血 新米司書・シショコが行く！

あたしは、シショコ。この図書館に勤め始めてまだ3ヶ月... まだまだわからないことばかりだけれど、今日も元気にがんばるぞ〜

あたしは、シショコのせんぱい。司書になって今年で10年。かわいい後輩が入ってうれしいわ。さあ、シショコ、今日もビシバシいくわよ〜

「あの〜すみません。私、この方の本が面白いと友達に聞いたので、この作者の本がなにかこちらにありますでしょうか？(サザっ！っとメモ出し)【万城目学】」

「ああ〜【まんじょうめまなぶ】さんですね！今検索しますね！！カチャカチャ...あれっ？おや？う〜ん、どうもないみたいですわ〜。」

「あら〜残念…。じゃあこの方の本はどうかしら？(またまたメモ出し)【深緑野分】」

「こ・こ・これは？【し・し・しんりよくの、わけ】さんかな...カチャカチャ...う〜んこれもどうやらないみたいです！」

「そうなの〜〜残念〜」

「シュッ！お客様申し訳ございません。【まきめまなぶ】さんと【ふかみどりのわき】さんの本はこちらがございます。」「あら！やっぱりあったのね〜じゃあそれを借りていくわ〜」「も・もうしわけございません…」

「シショコ〜！有名どころの作家の名前の読み方くらいちゃんと覚えておきなさいよ！」

「はい、すみません…たまたま、たまたまですよ〜、あの二人の作家の読み方が分からなかっただけで…」

「うん？じゃあ、他はだいたいわかるというのか？」

「せんぱい〜！こう見えても日々成長してるんですから、わ・か・りますよ〜！」

「ほっほ〜？ んじゃこれは？ サザッ【桐野夏生】」「ピシッ！【きりのなつなま】 ビールじゃないって！」

「シュッ！【辻村深月】」「ピシッ！【つじむらしんげつ】 サムライかい！」

「バシッ！【巖本野ばら】」「ピシッ！【ごくもとの・ばら！】 ヤンキーちゃうで！」

「ズバッ【高樓方子】」「ピシッ！【こうろうほうし！】 高僧か！？なむみよう」「んはっ！ハッ！ハッ！ハッ！」「んふうっ ふう〜ふ〜ふ〜」「し、しかし、こ〜も深く間違われると逆に気持ちいいもんだな ハハッ」

「ええ〜っ！！せんぶまちがってますう？」

「あたりまえだ！もっと精進せい！！」

「はあ〜またまたせんぱいに叱られちゃった…もっと勉強しないとなあ〜がんばれ〜自分！」

「ああ…ちよっとちよっとおじょうちゃん！」

「はいっ！なんでしょう？」

「わしはな、いま【みなかたくまぐす】に関する本をいろいろ読んでおるんじやが、この図書館にもあるかの？」

「えっ？えっ？み・みなか・た・くま・ぐ・す？？」

「ああ…わかるかった、わかるかった。こういう字を書くのじや。(メモ出し)【南方熊楠】」

「うん？やっだ〜なんだと思ったら【なんぼうくまじげ】のこことじやないですかあ〜今お調べしますね〜！うふっ♡」

「おじょうちゃん…あんた、よう、この業界で働くとるのぉ〜！苦勞も多いことじやろうて…がんばりんしやい シミジミ。自分で探すとするか…トポトポ」

「カチャカチャ あれ？ん？ないなあ…カチャカチャ う〜ん??? ない、ない…」

だ・だ・だいじょうぶか？シショコ〜！シショコの前途多難な日々はつづく…

文:T.Suzuki イラスト:AKawano